

令和8年度第1回高知県人口減少対策総合交付金事業計画審査会 議事概要

1 日 時

・令和8年5月13日（水）15時00分から16時45分

2 場 所

・こうち勤労センター4階大会議室

3 出席者

・審査委員（全7名）：5名が出席
・事務局ほか：元気な未来創造課 長尾課長補佐ほか

4 議 題

・事業計画に係る審査

5 内 容

（1）事業概要

・県（地域産業振興監）から事業概要を説明

（2）事業計画審査

・事業計画ごとに地域産業振興監から事業説明後、質疑応答と各審査委員による個別評価を行い、その後、合議によって総合評価を実施

6 審査結果

・審査された事業の審査結果は下記のとおり

申請者名	事業名	区 分	適格性
1 大豊町	①大豊町移住定住支援事業	連携加算型	適
2 奈半利町	①体験宿泊・農産物等加工施設整備事業 ②奈半利町出産祝金支給事業 ③インターンシップ（就業体験）促進事業 ④人材創出事業受講支援事業 ⑤空き店舗調査事業 ⑥奈半利町看護師養成奨学金貸付事業	連携加算型	適 ※①は条件付き採択

<審査会からの主な意見>

1 大豊町

- ①・移住促進につながるよう、嶺北町村で連携した効果的な情報発信やアプローチを期待したい
・他事例を参考に居住年数などの制度設計を検討していただきたい
・町としての住宅戦略の全体像をしっかりと検討して欲しい

2 奈半利町

- ①・運営においては、ターゲットを明確化し、効果的なプロモーションのできる体制が必要

- ・ 交流人口から関係人口、さらには、移住につなげるため、関係団体や他施策等とも連携し、戦略的に取り組むこと（運営委託の仕様書に明記するなど）
 - ・ 県外からも集客し、人口減少対策に資する施設運営ができるよう、幅広い情報発信と県との情報共有をお願いしたい
 - ・ 廃校利用の好事例が県内外に多くあるため、しっかりとベンチマークを行い自走できる仕組みを検討して欲しい
- ③ ・ 制度の創設に止まらず、事業者に積極的に活用してもらうための PR 手法を検討してほしい
 - ④ ・ 受講者の意欲向上や仕事に生かすモチベーションアップのため、一部は自己負担としてはどうか
 - ⑤ ・ 空き家バンクを設けた後のマッチングなど、掘り起こした物件が活用されるよう、県の関連事業との連携も含め、事業の継続がしっかりと行われることを期待する